

～12号-2014年1月1日発行～

*10代、20代、30代以上の不登校・ひきこもりの方の社会参加を考える NPO 法人です。

ポラリス通信

～不登校・ひきこもりの対応ニュース～

みなさん、新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしく願いいたします。

昨年をふりかえると着実な前進をしたと思えます。

夏に事務所を移転しました。事情としてはいちばん大きな出来事です。そして取り組み内容にも影響しています。

前半に始めたことを移転後に引継ぎ、後半も成長したといえるでしょう。

居場所づくりとその運営、親の会、訪問サポート活動、相談業務など主要な活動を見ていきます。

居場所活動の内容である**ホームページ制作**は、「不登校」検索 Google 1 位に到達し、常に上位に安定しています。

技術的な SEO 対策はよくわかりませんので、これまでホームページ自体の充実をめざしてきました。Wiki システムへの移行（2011 年初めから）がほぼ終了しました。

並行してそれぞれのページ群の完成をめざしてきました。2013 年の途中でこれらの主要部分がおおよそできました。これが「不登校」検索 Google 上位にいる条件をつくりました。

ホームページ制作は新分野を開きそうです。特に比較的小規模な「メンタル相談」ページを充実させる方向が見えてきました。ここが充実すると、ホームページ全体の様子が明瞭に変わっていくと想像できます。

この1年に「質問と回答コーナー」など双方向の要素を取り入れました。いわばソフトの情報掲載に力を入れたのです。このソフトのページに「メンタル相談」の役割は大きく作用するものです。

これは2011年12月16日の「不登校情報センターを再定義してみる」で意識したことが2年弱にして姿を示し始めたところです。

居場所づくりの方法として、**事務作業グループ**が生まれ継続しています。

最初の目的は、事務作業の形で不登校情報センターの業務を少しずつ分担し、将来につなぐことでした。その道はまだこれからですが、違うものも見えてきました。このグループの取り組みがホームページ制作に体験者の感覚を取り入れ、ホームページづくりの新しい方向を開きつつあると感じています。

不登校情報センターのホームページが一応の完成し、これまでと別の方向から注目され始めました。SCR（企業の社会的責任）を発表する場の提案を受けたことはその一つです。**ホームページ自体が収入になる1つ方法**が見えてきたともいえるでしょう。新しい年はこの実現のためにも取り組みます。

アドセンスもいろいろな分野の広告が入るようになったのも、このサイトが不登校や引きこもりを超えた人たちから評価されるようになった一つの面を示しています。制作を続けた9年の成果といえます。

参加する当事者10人余がサイト内でブログを設定・運営しています。昨年はそのブログ参加者も増えましたし、実際に収入を得られるようになった人が生まれました。今年もこの流れを発展させたいので、**引きこもり経験者のブログ参加**を募集します。

さらに、製本教室やセルフサービスカフェというスタイルも見えています。これらを安定的に継続させることは今年の課題です。

コミティアとして知られる大規模なイベントに「**製本教室はじっこ**」というサークル名で出展します（2月2日）。上手くいくと「片隅にいる私たちの想造展」を受け継ぎ、創作活動の新しい発表の場になりますし、製本教室が居場所の形になるかもしれません。

親の会は、大人の引きこもりを考える教室、不登校セミナー、訪問サポートを考える会がそれぞれ継続しています。

大人の引きこもりを考える教室は交流し学びあう状態から、訪問する、居場所に迎えるための準備の要素も加わってきたのではないのでしょうか。

ボランティアの支援者に参加していただくようになったことが大きな変化です。この状態をさらに進めて仕事づくりに結びつけるようにするのが今年の課題になりそうです。

訪問サポート活動も継続しています。

高年齢化している引きこもりの人への訪問サポートが重要なテーマでしたが、訪問できるサポーターの募集と養成は今年に引き継がれます。その芽が少し生まれていると思います。

親の会、居場所の継続的な発展と絡んで**相談活動**も継続しています。不登校、引きこもり、アスペルガーなどの発達障害の相談を親の会、訪問サポート、居場所などに結び対応する方向が前進しています。

今年から手をつけようとする課題もいくつか準備しています。

引きこもりの人と**手紙でつながる取り組み**を準備しています。こちらは文通ボランティア希望者が多く、引きこもり当事者にはまだ声が届いていません。文通ボランティアの紹介情報を届けるところからこの状態を乗り越え、手紙でつながる取り組みが始まります。

不登校情報センターが協力するセンター外に目を向けると、**かつしか子ども・若者応援ネットワーク**は3年目に継続しさらに続きそうです。**杉並区社会教育センターを会場とする進路相談会**は17回を重ね、主催4団体の協力とセシオネット親の会は継続しています。横浜拠点の**居場所づくり**さんの進路相談会への協力も続いています。

最後に昨年12月に、理事で訪問サポート部門・トカネット代表の藤原宏美さんのお母様が亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。

不登校セミナーなどいくつかの予定が空白なのはこのためですが、近日中に決めます。しばらくお待ちください。

不登校情報センターを基礎の土台にして引きこもり経験者が社会参加、社会的に自立をめざす条件はまだできていません。今年こそは何かが見える状態に持っていきたいと願っています。引き続きみなさんのご協力をお願いいたします。

2014年 正月
NPO法人 不登校情報センター
理事長 松田 武己

◆今後のお知らせ

(1) 「訪問サポートを考える親会」

●うちの子は誰にも会わないと、あきらめないで下さい。
メンタルフレンドとかかわって、不登校やひきこもりの子供たちが、学校やバイトなどを含めた多様な形で社会と繋がっていきます。
まずは、一緒に考えましょう！！

*日時： 未定です。

(2) 第16回不登校・未就労の対応「ミニセミナー&質疑応答の会」

●何が子供におきているのか。●親が出来る事。●安心出来る人間関係を作っていくこと。●モチベーション・自己肯定感を上げていくこと。●学校復帰・バイト・友達づくりなどの社会参加につなげていくこと・・・など専門家と一緒に考えていきます。

*日時： 1月未定日(土)、13時～16時。 *参加費：500円

*対象： 10代および20代前半の子供の親・体験者・学びたい人

(3) 「大人のひきこもりを考える教室」

*日時： 1月12日(日)、13時～15時。

*参加費：500円

*対象：親・体験者・学びたい人

◎上記は、全て予約制です(連絡先は下記まで)。

◎場所：NPO 法人不登校情報センター(総武線「平井」駅南口・徒歩5分)

◎地図はHP参照。



迎春

●NPO 法人不登校情報センター

●訪問サポートトカネット

【発行元】 ポラリス通信編集部

〒132-0035 東京都江戸川区平井 3-23-5-101

連絡先

TEL/03-5875-3730/090-4953-6033(藤原)

E-mail/tokanet1998-lucky-chance@docomo.ne.jp

URL/http://www.futoko.info/tokanet/